

Mainichi
INTERACTIVE

Mainichi-Mall.Com

e ラーニング

▶DIGITALトゥデイ



School :



■ 東大大学院がeラーニングサイト



iii onlineのサイト

東京大学大学院と文部科学省の「メディア教育開発センター」(坂元昂所長)は共同で4月から、eラーニングサイト「iii online」(アイアイ・オンライン)で研究実験を始める。社会人が働きながら学べる環境を提供すると同時に、eラーニングを使いながら教育の質を保ち、学生の幅広い学習目的に応えるためには、どんな

学習形態、教材、サポートシステムが有効かを研究する。さらに、全国の大学、海外の大学との連携の可能性を探っていく。

インタビュー

トピックス

これがポイント

学 校

- 情報モラルをCD-ROMで体験学習
- 東大大学院がeラーニングサイト
- 広がるインターネット大学・大学院

このプロジェクトは大学院組織の「情報学環」「学際情報学府」で行う。新年度は「自然言語処理論」「コミュニケーション・システム」「情報政策論」「メディア表現論」の4つの授業で授業のビデオやテキストなどを配信し、掲示板やテレビ会議システムなどを活用して、ディスカッションや質疑、ワークショップなどを展開する。



iii onlineについての発表

学際情報学府ではポータルサイトを設け、「オンデマンドで講義ビデオを視聴できる」「双方向のディスカッションができる」「大学間での授業の交換や単位互換」「教材の管理や学習管理」などの機能を持たせる。メ

ディア教育関連開発センターは、衛星通信を使う映像交換を柱とする大学間ネットワーク「スペース・コラボレーション・システム

(SCS)」やメディア教材開発、学習素材のデータベース構築などの事業を行っており、これらの事業をeラーニングに生かし、大学連携の道を模索する。

山内祐平・情報学環助教授は大学院のeラーニングの課題として(1)社会人に対応したサービス(2)きめ細やかなサポートの必要性 対面型授業との連携一を挙げる。



e大学連合をと語る坂元所長

サポートについては、教育工学の知識を持つコーディネーターのグループが、それぞれの学生にふさわしいeラーニングの技術や学びの方法をコーディネートし、カウンセリングを行い、学習状況を見る。授業はeラーニングに特化するのではなく、eラーニングと対面授業、ディスカッションなどを組み合わせて教育効果を上げる道を探る。山内

助教授は「大学院の学習は答えのないことを一緒に考える。それが最先端の教育で、共同で問題解決をする学習が大半になる。そういう環境をeラーニングを使ってつくり、異領域の人たちの知的スパークが起きるような学習を狙っている」と話す。

iii online は一般に教材を公開する。さらに複数の大学間で単位互換や国立大学間の教材配信ネットワークの構築などを行う。坂元・メディア教育関連開発センター所長は「メディアを使った高等教育のサポートをしていく。将来は全国を結ぶe大学連合、国際e大学連合に発展させたい」と意欲を語った。

iii onlineは<http://www.iii.u-tokyo.ac.jp/online/>

| Home | 毎日の視点 | くらし・娯楽 | 子育て・教育 | スポーツ・芸能 | DIGITALトウデイ |



Shopping
&
Open your
online store

Mainichi-Mall.Com

Maini
INTERAC

Copyright 2001-2002 THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.
毎日インタラクティブに掲載の記事・写真・図表などの無断転載を禁止します。
著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。